

## 平成 23 年度の収支状況について

### (1) 自場売得金

自場売得金は、前年度を 11 億円上回る 71.4 億円となった。

これは、本場を含む発売所における現金系の売り上げが、前年度比 4%減の 16.1 億円と減少したものの、インターネットでの売上が、4月から5月にかけて東北地方太平洋沖地震の影響と思われる大きな伸びを示したことをはじめ年間を通じて堅調に推移したことから、前年度比 24%増の 45.6 億円となったことによるものである。

\*別表 1 参照

### (2) 収益構造の変化

現金計売得金の減少傾向とインターネット投票による売得金の伸びが同時に進行していることにより、収益率（開催収益÷売得金額）は、11.3%にまで低下してきており、自場売得金の伸びが収益改善には表れにくい状況となっている。

\*別表 1 参照

### (3) 他場売得金

他場売得金は、全国の地方競馬場の発売日数の拡大努力を続けたものの、前年度を 1.5 億円下回り 38.5 億円であった。

\*別表 1 参照

### (4) 決算見込

自場売得金の伸びにより財源不足 0.6 億円が解消できたため、財政調整基金を取り崩す必要はなくなり、単年度収支は 0.4 億円の黒字となった。